

鳥飼玖美子 ASF2018記念講演会

「異文化コミュニケーションを考える
—〈沈黙のことば〉を手がかりに—

- 日時：2018年5月27日(日) 13:00～14:30
- 会場：6号館 3階 307教室
- 講師：鳥飼玖美子氏（ソフィア会副会長／立教大学名誉教授）

鳥飼玖美子さんからのメッセージ



『沈黙のことば』とは、私が上智大学外国語学部イスパニア語学科在学中にロボ先生の授業で学んだ本の題名です。「黙っていることば」つまり、言語によらない「非言語コミュニケーション」のことです。

異文化コミュニケーション研究のパイオニアであるエドワード・T・ホール(Edward T. Hall)による”The Silent Language”を同時通訳者3名が日本語に訳したのが『沈黙のことば』で、この本によって初めて「異文化コミュニケーション」という用語と概念が日本に紹介されました。

本講演では、私にとって忘れられないその記念碑的な書を手がかりに、「異文化コミュニケーション」が本来は何を意味するか知っていただき、グローバル時代における異文化コミュニケーションの問題を、時に言語コミュニケーションにも視点を移動させながら、省察してみたいと思います。

Hall, E.T. 1959. The Silent Language. Doubleday.
エドワード・T・ホール(1966)國弘正雄・長井善見・齋藤美津子訳
『沈黙のことば:文化・行動・思考』南雲堂。



●鳥飼玖美子氏 (TORIKAI Kumiko, Ph.D.) プロフィール

1969年上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業後、コロンビア大学大学院修士課程修了(MA in TESOL)、サウサンプトン大学大学院人文学研究科博士課程修了(Ph.D.)。日本通訳翻訳学会会長、AFS International Educational Council member、大学設置審議会委員等を歴任。現在、上智大学ソフィア会副会長。立教大学名誉教授。NHK「世界へ発信 SNS 英語術」テレビ講師など。

近著に『英語教育の危機』(ちくま新書、2018)、『本物の英語力』(講談社現代新書、2016)、『英語教育論争から考える』(みすず書房、2014)、『戦後史の中の英語と私』(みすず書房、2013)などがある。

ASF学術講演会とはホームカミングの機会にソフィアの学問研究の成果に接することにより、会員相互の親睦を深め、改めて「上智の精神と教育理念」を共有することを目的とした企画です。

主催：上智大学ソフィア会 ASF2018実行委員会

学術講演会担当 江波戸隆明(1984年法卒) 鈴木久子(1984年外卒) 高橋喜代子(1985年文教卒)